

社会インフラ事業

航空宇宙・防衛事業

事業概要

航空宇宙および防衛事業では、主に政府機関向けにICTソリューションを提供しています。レーダ装置、セキュアな通信システム、人工衛星などのハードウェアや、航空機・人工衛星の管制・データ処理を行う地上システムの提供と、これらを支える先進的技術開発を行っています。

強み

- 海底から宇宙まで網羅する高度な光通信技術、世界トップレベルの電波／音波センシング、AI、セキュリティなど長年培ってきた技術力
- 自社での設計・開発から製造、導入、運用・保守まで一貫して提供できる事業体制

事業戦略

■ 防衛予算拡大に対応した体制強化と成長戦略

安全保障を取り巻く地政学的リスクや経済安全保障の重要性増大を背景に、NECの防衛事業の事業機会は拡大しています。政府の防衛予算増額も視野に、人員・設備の強化を進め、強い需要やさらなる予算増にも柔軟に対応可能な体制を構築していきます。今後は、IT、ネットワーク、センサの強みを活かし、統合防空ミサイル防衛能力、領域横断作戦能力、指揮統制・情報関連機能など成長領域に注力し、国内外での安定成長を目指します。



■ 防衛装備移転とデュアルユース製品のグローバル展開

防衛事業では、政府方針に基づき、防衛装備移転やデュアルユース製品のグローバル拡販を推進しています。2026年4月には、豪州海軍の次期汎用フリゲート艦向け搭載機器納入の契約を締結しました。水上艦用ソーナーや複合通信空中線 (UNICORN) など、海上自衛隊向けで培った通信・センサ分野の技術と実績を活かして提供します。今後も適切な手続きと法令遵守のもと、グローバルでの案件獲得を進めていきます。



出典：海上自衛隊ホームページ
<https://www.mod.go.jp/msdf/equipment/ships/ffm/mogami/>

■ サイバー防御強化に向けた

グローバル連携と次世代サービス「CyIOC」の展開

セキュリティ分野ではサイバー攻撃の高度化をふまえ、能動的サイバー防御 (ACD: Active Cyber Defense) の強化が重要となっています。NECは2026年6月、英国BAE Systems社とACDソリューションの共同開発・導入に関する覚書を締結しました。また、NEC独自のインテリジェンスとAI技術を融合した次世代サイバーセキュリティサービス「CyIOC (サイオック)」の提供も開始。CyIOCは専門チームによる監視・分析や24時間体制の運用で、企業や政府のサイバーレジリエンス向上を包括的に支援します。

社会インフラ事業

海洋システム事業・ネットワークインフラ事業

事業概要

海洋システム事業では、海底ケーブルシステムを設計・開発から敷設工事まで一貫して提供しています。海底ケーブル通信は大陸間通信の99%を支える国際ネットワークの重要なインフラになっています。また、ネットワークインフラ事業では、主に通信事業者向けにネットワーク機器や運用管理のための基盤システム、運用サービスなどを提供し、デジタル社会の根幹であるネットワークを支えています。

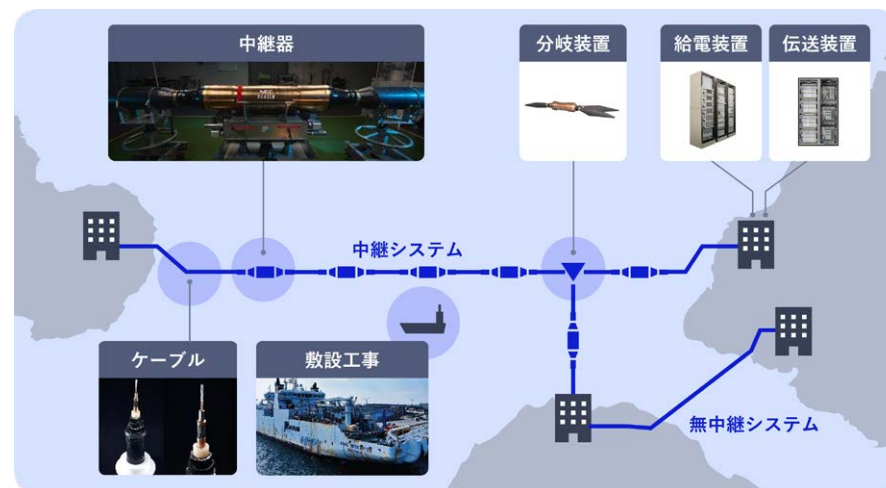
強み
(海洋システム事業)

- 海底ケーブル事業のグローバルシェア上位3社のうちの1社
- アジア・太平洋の海域で豊富な敷設実績と最先端光技術による大容量通信

強み
(ネットワークインフラ事業)

- ミッションクリティカルな実績に基づくアセット・ノウハウとネットワーク技術・提案力

海底ケーブル事業概要図

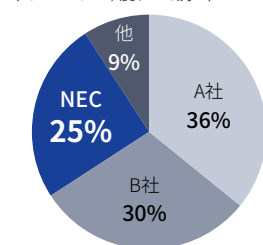


事業戦略

■ 海底ケーブル需要の拡大への対応

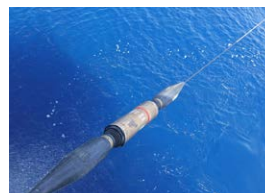
SNSやAIの普及、データセンター利用の拡大を背景に、海底ケーブル市場は成長を続けています。顧客も従来の国内通信事業者中心からハイパースケーラーなどへと広がり、市場規模はこれまでの年間約3,000億円から、約5,000億円規模へ拡大することが見込まれています。今後はアジア・太平洋海域が市場の過半数を占めると見込まれる中、NECは日本に拠点を持つ強みと大容量通信の最先端技術を活かし、市場シェア35%を目指します。

海底ケーブルの市場シェア
(2011～2024年度、NEC調べ)



■ 海底ケーブル敷設能力の強化

海底ケーブル事業で市場シェア35%を目指すうえで、NECは工場の生産能力と敷設能力を成長の鍵として位置づけています。今後5年間では、自社保有船とチャーター船の活用により複数の船舶体制の構築を視野に入れ、工事を自らの管理下で遂行することで、施工ノウハウの蓄積と収益性の向上を図ります。業界では将来的な敷設船の逼迫も見込まれる一方、市場成長には変動性もあるため、投資は需要動向や採算性を見極めながら慎重に判断していきます。



■ AIネイティブ社会を支える「信頼されるネットワーク」の実現

AIが社会の意思決定を担う時代、ネットワークに求められる条件は「つながること」から「信頼して任せられること」へ変わりつつあります。NECは、10年以上にわたり培った仮想化技術と、大容量光トランシーバや無線RFデバイスに代表されるデバイス技術およびネットワークの計画・設計から運用までを担ってきた実績で通信インフラを支えています。これらの技術アセットと設計・運用品質を通じて、信頼されるネットワークの社会実装を推進し、AIネイティブ社会の基盤を実現します。